

学校になじめない お子さまの 「自信を育てたい」 お母さまへ



褒め方のポイント-2

その3 すぐ褒める

何かよいことを見つけたときには、
すぐに褒めることが大切です。


心理学の用語では、これを
「即時確認の原理」と言います。

行動科学では、
「60秒ルール」と呼ばれています。

良い取り組みや、
適切な行動があったときには、
ただちに、それを評価するのです。

ポジティブなフィードバックをします。

そうすると、同じような行動を、
さらに促すことができる
・・・という原理です。



特に、お子さまの場合、興味や関心は、
つぎつぎに、移ってゆきます。

ですから、何日も経過してから、
褒められたとしても、

お子さまには、何が良かったのか、
わからないかもしれません。

「え？ なんのこと～？」

「ボク、なにか、いいことしたあ？」

良い行動や、良い取り組みが、
お子さまの心の中に
大きな位置を占めているときに、
ベストタイミングです。

このときを逃さないように、
しっかりと褒めてあげること。
それがポイントです。



大切なことなので、
もう一度、繰り返します。

良いことをしたら、
その場面で、褒めることです。

そうすれば、子供たちは、
「褒められなあ。。うれしいっ！」
という気持ちになります。

ところが、何日も経ってから、
「あの時の、〇〇は良かったね」
なんて言ってもダメです。

子どもたちの心の中では、疑問だらけ。
「え？ なんのこと??？」

本人が忘れた頃に褒めても、それは、
あまり効果がありません。



その4 「これはいい!」と思うことを、 いつまでもしみじみ褒める


例えば……

「幼稚園のときに、
転んで泣いている〇〇ちゃんを心配して
ずっとついていてくれたっけね。
なんて優しい子なんだろうって思ったよ」

「3級のそろばんの試験を受けるとき、
すごくがんばって練習したね。あのとき、
〇〇くんは、根性があるなと思ったよ」

このように「これはいい!」と思うことを
折に触れて、チャンスを見つけては話します。

そうすると、お子さまの心の中に、
少しずつ、自分自身に対する
良いイメージが出来上がります。



このような貴重な場面は、
お母さんも、お子さまも、
いつまでも覚えていただけるように
工夫することが大切です。

そのときの写真や日記や記念品があれば、
いつも見えるように、
身近なところに置くとよいでしょう。

このような努力を、お父さん、お母さんが
意識的にしてあげることが、実は、
お子さまを、大きく立派に成長させるのです。

くどくどとした、お説教も不要です。
感情的に怒ることもなくなります。

中国の古典に、次のような言葉がありました。
「名医は、病気にならないように指導する。
だから、外科的な手術を必要としない。」

教育も、よく似ていますね。

その5 理由をつけて褒める


「毎朝玄関を掃いてくれてありがとう。
おかげで、突然お客さんが来たときも、
慌てなくて済んだわ」

「ノートや予定帳の字が
とても丁寧に書けているね。」

「丁寧に書いていると見やすいし、
気持ちもいいね」

「服についたジュースを、すぐ
ハンカチをぬらして拭くなんて、すごいよ。
そうしておけば、染みになりにくいものね」

このように、それがなぜよいのか
理由をつけて褒めることも必要です。



その行動が、なぜすばらしいのか、
その行動の価値を
お子さまに、体験をふまえて、
分りやすく教えることができます。

大人にとっては、当たり前のことでも、

意外と、子供たちにとっては
そうでないこともあるのです。

ときどき、不思議に思うことは
ありませんか？

「なぜ、子供は、言った通りに
行動しないのだろう？」

それは、お子さまが、
その行動の意味や理由を、
よくわかっていないからかもです。

その6 理由なしで褒める

いつも、いつも、
理由つきで褒めるのは
なかなか大変ですよ。

また、いつも同じ言葉で、
繰り返して褒められ続けると

大人も子供も、
押しつけがましく感じます。

ときには、理由なしで
「あっさり」と褒めることも必要です。

要するに、バランスをとることですね。



その7 褒め言葉のバリエーションを増やす

毎日毎日、まったく同じ言葉では、
はっきり言って、マンネリです。
お子さまたちも、あきあきしてきます。

いろいろな言葉で褒めた方が、
お子さまたちにも新鮮で、
受け取るときの喜びも、大きくなります。

「偉いね、立派だよ！」

「すごいね、さすが！」

「素晴らしい、お見事！」

「やるねえ、ワンダフル！」

「ビューティフル！」

「大したもんだ！」……などなど。

お子さまの学習、習慣づくり、将来の展望など、
どんな小さなことでも、気軽にお電話下さい。

「スタディ・コーチング・ラボラトリー」代表の
福田秀一が、直接、お話をうかがいます。

ご連絡は、こちらです。

e-mail : a_totalperson@yahoo.co.jp
(PCにて、24時間受付)

